第 11 節　地域医療（伊豆病院研修プログラム）研修

一般目標

① 地域医療、保健・医療行政、予防医療の現場を経験し、初期診療に必要な基本的診療能力を身につける。

② 他職種との連携にて亜急性期、急性期離脱後の患者の社会復帰を含めた退院調整能力を身に着ける

③ 緊急性の高い病態を有する患者の状態や緊急度を速やかに把握・診断し、必要に応じた初期救急対応ができる。

具体的目標

1. 保健・医療行政

① 特別養護老人ホーム(伊豆白寿園)での診療を理解する。

② 社会福祉施設（伊豆ライフケアホーム）での診療を理解する。

③ 訪問診療(伊豆病院)へ同行し、在宅ケアを理解する。

④ へき地診療(初島診療所)へ同行し、へき地診療を理解する。

2. 外来診療

① 地域一般病院として総合診療科外来における外来初診担当を指導医とともに体験し、外来初期診療の問診・診断・治療計画を行える。

② 総合診療科外来にて、生活習慣病患者の栄養指導・運動療法指導を理解する。

3. 高齢者入院患者診療

① 地域一般病棟における高齢者入院患者（一般内科・終末期・運動器系疾患・高齢者栄養摂取障害・老年症候群を含む）を担当し、高齢者への適切な評価、治療が行える。

4. リハビリテーション

① 能力障害・社会復帰ハンディキャップについて理解できる。

② PT、OT、ST、看護師、MSW 等のスタッフとチーム医療が行える。

③ 廃用症候群（拘縮、廃用性筋萎縮、起立性低血圧、廃用性心肺機能低下、等）の予防・治療法を理解する。

実臨床研修

- 毎日担当患者の回診を行い、指導医と患者の状態・治療方針について検討する。
- 週 1 回のカンファレンスで担当入院患者の問題点と解決策についてまとめ、発表する。また多職種でのカンファレンスに参加する。

・ 入院患者の退院前カンファレンスやホーム エバリュエーションに参加する。
・ 総合診療科外来にて外来患者の初期診療、診断に指導医とともにあたる。

研修評価

・ 指導医が日常診療を通じ、知識・技能・態度等を評価する。

【週間スケジュール】

	月	火	水	木	金
午前	一般内科病棟 地域包括病棟	総合診療科外来 一般内科病棟 地域包括病棟	総合診療科外来 一般内科病棟 地域包括病棟	一般内科病棟 地域包括病棟	一般内科病棟 地域包括病棟
午後	一般内科病棟 地域包括病棟	訪問診療 僻地診療	一般内科病棟 地域包括病棟	一般内科病棟 地域包括病棟 15 時～内科カンファレンス	一般内科病棟 地域包括病棟

上記の他 予防医学的業務、勉強会などは適宜